

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称:

製品名称: 白色ワセリン

製品番号(SDS NO): D006440-1

供給者情報詳細

供給者: 国産化学株式会社

住所: 東京都中央区日本橋本町3丁目1番3号

担当部署: 品質保証部

電話番号: 045-328-1715

FAX: 045-328-1716

e-mail address: cs@kokusan-chem.co.jp

緊急連絡先: 国産化学株式会社 横浜事業所 神奈川県横浜市西区北幸2-8-29

2. 危険有害性の要約

製品のGHS分類、ラベル要素

GHS分類

健康に対する有害性

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性: 区分 2B

(注)記載なきGHS分類区分: 該当せず/分類対象外/区分外/分類できない

GHSラベル要素

絵表示なし

注意喚起語: 警告

危険有害性情報

眼刺激

注意書き

安全対策

取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

応急措置

眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合: 医師の診断/手当てを受けること。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別:

化学物質

化学的特定名: ペトロラタム

慣用名、別名: 鉱油、ワセリン、ミネラルグリース、パラフィンジェリー

成分名	含有量(%)	CAS No.	化審法番号	化学式
ペトロラタム	—	8009-03-8	—	—

4. 応急措置

応急措置の記述

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

気分が悪いときは医師に連絡すること。

皮膚(又は髪)に付着した場合

多量の水と石けん(鹼)で洗うこと。

皮膚刺激が生じた場合:医師の診断/手当てを受けること。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合:医師の診断/手当てを受けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。

気分が悪いときは医師に連絡すること。

5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

火災の場合は霧状水、泡、粉末、炭酸ガス、乾燥砂を使用すること。

特有の危険有害性

火災によって刺激性、有毒及び/又は腐食性のガスを発生するおそれがある。
激しく加熱すると燃焼する。

消火を行う者への勧告

特有の消火方法

霧状水により容器を冷却する。

消火を行う者の保護

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

関係者以外は近づけない。

着火源を取除くとともに換気を行う。

密閉された場所に入る前に換気する。

環境に対する注意事項

上水源、河川、湖沼、海洋、地下水に漏洩しないようにする。

下水、排水中に流してはならない。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

掃き集めて、容器に回収する。

二次災害の防止策

着火した場合に備えて、消火用器材を準備する。

全ての発火源を取り除く(近傍での喫煙、火花や火炎の禁止)

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

局所排気、全体換気

排気/換気設備を設ける。

注意事項

皮膚に触れないようにする。

眼に入らないようにする。

安全取扱注意事項

保護手袋/保護眼鏡/顔面保護具を着用すること。

指定された個人用保護具を使用すること。

取扱い後は手、汚染箇所をよく洗う。

配合禁忌等、安全な保管条件

適切な保管条件

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
涼しいところに置き、日光から遮断すること。

8. ばく露防止及び保護措置

管理指標

管理濃度 データなし

許容濃度

鉱油ミスト: 3 mg/m³ (発がん物質)

ばく露防止

設備対策

排気/換気設備を設ける。
洗眼設備を設ける。
手洗い/洗顔設備を設ける。

保護具

呼吸用保護具

換気が不十分な場合、呼吸用保護具を着用すること。

手の保護具

保護手袋を着用する。

眼の保護具

側面シールド付安全メガネまたは化学用品用ゴーグルを着用する。

衛生対策

取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。
取扱い後はよく手を洗う。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

物理的状態

形状: ワックス状ペースト

色: 無色～白色

臭い: 無臭

物理的状態が変化する特定の温度/温度範囲

初留点/沸点: 302°C

融点/凝固点: 36 through 60°C

燃焼性(固体、ガス) データなし

引火点: (ペトロラタム) 182 through 221°C

自然発火温度: > 290°C

爆発特性: 引火又は爆発範囲

下限: 0.9 vol %

上限: 7 vol %

蒸気圧: < 1.3 Pa (20 C)

比重/密度: 0.9

溶解度

水に対する溶解度: 溶けない

溶媒に対する溶解度: グリセロール、アルコールに不溶。

n-オクタノール/水分配係数: log Pow6

10. 安定性及び反応性

化学的安定性

通常の保管条件/取扱い条件において安定である。

11. 有害性情報

毒性学的影響に関する情報

急性毒性

急性毒性(経皮)

[日本公表根拠データ]

データがなく分類できない。なお、パラフィンワックス(CAS No.8002-74-2)との混合物(50/50)では、ウサギのLD50値3600mg/kg bw(IUCLID(2000))、である。

局所効果

皮膚腐食性・刺激性

[日本公表根拠データ]

PATY (5th, 2001)で刺激性はなく皮膚試験のvehicleとして使用されるとの記載があることから区分外とした。

眼に対する重篤な損傷・刺激性

[日本公表根拠データ]

ウサギにおいて、評価結果「slightly irritating」である(IUCLID,(2000))より区分2Bとした。

感作性

皮膚感作性

[日本公表根拠データ]

ヒトにて、評価結果「not sensitizing」(IUCLID(2000))、反復暴露により皮膚炎(dermatitis)はみられたが感作性ではない(IUCLID(2000))、およびアレルギー性はなく、皮膚試験のvehicleとして使用される(PATY(5th, 2001))の記載がある。以上の結果から区分外とした。

生殖細胞変異原性データなし

発がん性

[日本公表根拠データ]

ラットの混餌試験(FDRL, about 3000mg/kg/day)において、白色物質2例および黄色物質1例(精製度の違い)にて発がん性は認められない(EHC20(1982))。マウスの経皮投与試験(80週間, 25 and 50 mg)にて、発がん性は認められなかった(IUCLID(2000))。PATYでは、精製度の高い物質の発がん性は殆どまたは認められないの記載がある(PATY(5th, 2001))。EU分類においては、「精製度の低いもの(黄色、琥珀色、茶色ワセリン)は、工業用として使われ、発がん性の多環式芳香族を含むことがある。」に基づき、Cat.2(区分1B相当)である(EU-Annex I(access on 9. 2008))。以上の結果、精製度の低い黄色物質に関する情報が十分に得られないことから分類できないとした。EU-発がん性カテゴリ1B; ヒトに対しておそらく発がん性がある物質

催奇形性データなし

生殖毒性データなし

短期ばく露による即時影響、長期ばく露による遅延/慢性影響

特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

[会社固有データ]

ウサギの皮膚試験(24時間暴露, 4ml/kg)において毒性症状(剖検における異常または全身への作用(systemic effects))は認められないが、試験物質がparaffin wax(CAS No.8002-74-2)との混合物(50/50)である(IUCLID(2000))。得られた情報はこの1試験およびマウスの皮下投与試験(IUCLID(2000))のみであり、データ不足で分類できないとした。

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

[会社固有データ]

ラットの混餌試験(FDRL, 2年間, about 3000mg/kg/day(90日補正24000mg/kg/day))において、白色物質2例および黄色物質1例(精製度の違い)にて、毒性症状(行動、死亡率、血液項目、尿および臓器組織)に異常は認められない(IUCLID(2000))との記載より経口経路では区分外相当であるが、他経路の情報がなく分類できないとした。

吸引性呼吸器有害性データなし

12. 環境影響情報

生態毒性
水生毒性データなし
水溶解度
 溶けない (ICSC, 2002)
残留性・分解性データなし
生体蓄積性
 log Pow=6 (ICSC, 2002)
土壌中の移動性データなし
オゾン層破壊物質データなし

13. 廃棄上の注意

廃棄物の処理方法
 廃棄の前に可能な限り無害化、安定化及び中和などの処理を行なって危険有害性のレベルを低い状態にする。都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合には、そこに委託して処理する。
汚染容器及び包装
 容器は清浄して関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去する事。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類
国連番号に該当しない
バルク輸送におけるMARPOL条約附属書II 改訂有害液体物質及びIBCコード
 有害液体物質 (Y類)
 ペトロラタム

15. 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令
毒物及び劇物取締法に該当しない。
労働安全衛生法
 有機溶剤等に該当しない製品
労働安全衛生法に該当しない。
化学物質管理促進(PRTR)法に該当しない。
消防法
 指定可燃物
 可燃性固体類(届出数量 3,000kg)
消防法に該当しない。
化審法に該当しない。
水質汚濁防止法
 1日当たり平均的排水量50m³以上の特定事業場に適用される排水基準生活環境項目
 ノルマルヘキサン抽出物含有量(鉱油類含有量): C 5 mg/liter
適用法規情報
 下水道法: 鉱油類排出規制(5mg/L 許容濃度)
 海洋汚染防止法: 有害液体物質(Y類物質)(施行令別表第1)

16. その他の情報

参考文献
 Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, (5th ed., 2013), UN

Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 18th edit., 2013 UN
Classification, labelling and packaging of substances and mixtures (table3-1 ECNO6182012)
2012 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK(US DOT)
2015 TLVs and BEIs. (ACGIH)
<http://monographs.iarc.fr/ENG/Classification/index.php>
JIS Z 7253 (2012年)
JIS Z 7252 (2014年)
2015 許容濃度等の勧告 (日本産業衛生学会)
Supplier's data/information

責任の限定について

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の実施を前提としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。

ここに記載されたデータは最新の知識及び経験に基づいたものです。安全性データシートの目的は当該製品を安全に取り扱って頂くための情報を提供するものです。ここに記載されたデータは製品の性能について何ら保証するものではありません。

ここに記載したGHS分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データです。